

# Dell™ 2009Wフラットパネルモニターユーザーズガイド

## 製品の特徴

[製品の特徴](#)  
[部品とコントロールの確認](#)  
[モニター仕様](#)  
[ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)  
[プラグアンドプレイ機能](#)  
[保守のガイドライン](#)

## モニターのセットアップ

[スタンドを取り付ける](#)  
[モニターの接続](#)  
[ケーブルの整理](#)  
[サウンドバーの取り付け\(オプション\)](#)  
[スタンドを取り外す](#)

## モニターの操作

[前面パネルコントロールの使用](#)  
[オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)の使用](#)  
[最適解像度を設定する](#)  
[Dellサウンドバー\(オプション\)を使う](#)  
[傾き、旋回および垂直拡張を使う](#)  
[モニターの回転](#)  
[オペレーティングシステムの回転設定の調整](#)




## 問題を解決する

[モニターのトラブルシューティング](#)  
[一般的问题](#)  
[製品別の問題](#)  
[ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)  
[Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング](#)

## 付録

[安全に関する注意事項](#)  
[FCC通知\(米国のみ\)](#)  
[Dellに問い合わせ](#)

## 注、注記および注意

-  **注意:** 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。
-  **注記:** モニターが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、デル テクニカルサポート に連絡してください。
-  **注意:** 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。  
© 2008 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 本テキストで使用した商標。 Dell および Dell ロゴは Dell Inc の商標です。 Microsoft、Windows、Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。 Adobe は Adobe Systems Incorporated の商標で、それぞれ特定の管轄区域で登録されています。 ENERGY STAR は米環境保護庁の登録商標です。 ENERGY STAR パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 2009W

2008年1月

Rev. A00

[目次ページに戻る](#)

## 製品の特徴

### Dell™ 2009W フラットパネルモニターユーザーズガイド

- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)
- [プラグアンドプレイ機能](#)
- [保守のガイドライン](#)

## 製品の特徴

Dell™ 2009W フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターには、以下が含まれます。

- 20インチ(508 mm)表示可能領域のディスプレイ。
- 1680 x 1050解像度、さらには低い解像度の場合は全画面サポート。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- 取り外し可能台座とVESA 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルCDには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッピングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能(エネルギースターに準拠)。
- セキュリティロックスロット

## 部品とコントロールの確認

### 正面図



正面図

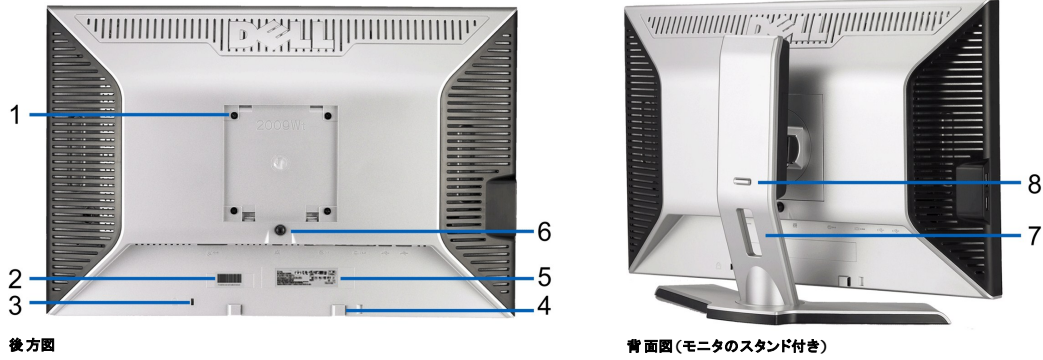


前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	入力ソースの選択
2	OSDメニュー/選択ボタン
3	明るさとコントラスト / ダウン (-) ボタン

- 4 自動調整 / アップ (+) ボタン
- 5 電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)

## 後方図

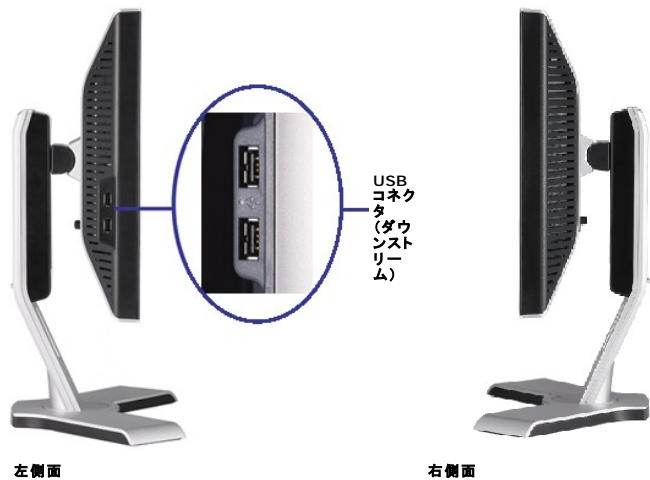


後方図

背面図 (モニタのスタンド付き)

ラベル	説明
1	VESA取付ホール(100mm) (取り付けたベースプレートの背面) これを使って、モニターを取り付けます。
2	バーコード・シリアル番号ラベル Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
3	セキュリティ・ロック・スロット スロットのあるセキュリティ・ロックを使用して、モニターを固定します。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット オプションのDellサウンドバーを取り付けます。
5	規制定格ラベル 規制承認を表示します。
6	スタンド取外しボタン 押して、スタンドを取り外します。
7	ケーブル管理ホール 穴に通して、ケーブルを束ねやすくします。
8	ロックダウン/取外しボタン モニターを下方に押し、ボタンを押して、モニターのロックを解除します。次に、モニターを必要な高さまで持ち上げます。

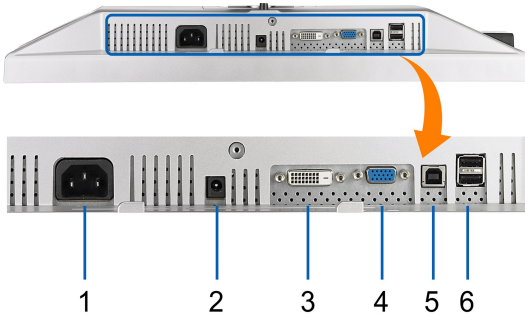
## 側面図



左側面

右側面

## 底面図



底面図



底面図 (モニタのスタンド付き)

ラベル	説明
1	AC電源コードコネクタ。
2	DellサウンドバーのDC電源コネクタ。
3	DVIコネクタ
4	VGAコネクタ
5	USBアップストリーム・コネクタ
6	USBコネクタ

## モニター仕様

次のセクションでは、さまざまな電源管理モデルとモニタのさまざまなコネクタのピン割り当てについて説明します。

### 電源管理モード

ESAのDPM™互換ディスプレイカードまたはソフトウェアがPCIにインストールされている場合、モニタは不使用時電力消費を自動的に低減します。これは電力節約モードと呼ばれます。コンピュータがキ入力を検出すると、モニタは自動的に機能を回復します。この自動電力節約機能の電力消費と信号規格は以下の表の通りです：

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転 (DellサウンドバーおよびUSBが有効になっている場合)	有効	有効	有効	緑	70W(最大)
通常運転	有効	有効	有効	緑	42W(一般)
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

OSD は通常操作モードでのみ機能します。[メニュー]または[プラス]ボタンをアクティブオフモードで押すと、次のメッセージのどれかが表示されます。

アナログ入力省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。  
または  
デジタル入力省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押します。

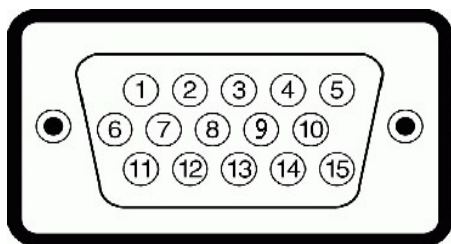
コンピュータとモニタをオンにして、OSDにアクセスします。

**注意：** 本モニターは、ENERGY STAR®-準拠で、TCO '99/TCO '03 電源と互換性があります。

\* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

## ピン割当

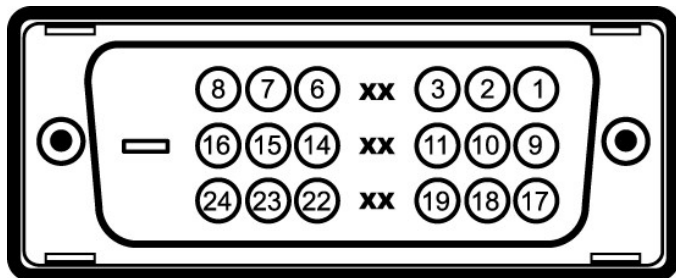
## VGAコネクタ



### ピン番号 15-pin側面信号ケーブルのモニター側面

1	ビデオ-赤
2	ビデオ-緑
3	ビデオ-青
4	GND
5	自己テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5V
10	GND
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

## DVIコネクタ



### ピン番号 24-pin側面信号ケーブルのモニター側面

1	T.M.D.S. データ2-
2	T.M.D.S. データ2+
3	T.M.D.S. データ2シールド
4	接続なし
5	接続なし
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	接続なし
9	T.M.D.S. データ1-
10	T.M.D.S. データ1+
11	T.M.D.S. データ1シールド
12	接続なし
13	接続なし
14	+5V電源

- 15 自己テスト
  - 16 ホットプラグ検出
  - 17 T.M.D.S. データ0-
  - 18 T.M.D.S. データ0+
  - 19 T.M.D.S. データ0シールド
  - 20 接続なし
  - 21 接続なし
  - 22 T.M.D.S. クロックシールド
  - 23 T.M.D.S. クロック+
  - 24 T.M.D.S. クロック-
-

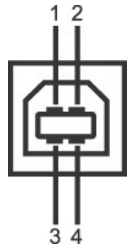
## ユニバーサルシリアルバス(USB)インターフェイス

本項では、モニターの左側で使用できるUSBポートについて説明します。

**注意:** このモニターは、高速認定USB2.0インターフェイスをサポートしています。

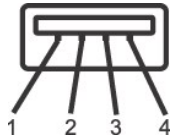
移動の速度	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W(最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W(最大、各ポート)
低速度	1.5Mbps	2.5W(最大、各ポート)

### USB アップストリームコネクタ



ピン番号	4ピン(コネクタの側面に表示)
1	DMU
2	VCC
3	DPU
4	GND

### USB ダウンストリームコネクタ



ピン番号	4ピン(コネクタの側面に表示)
1	VCC
2	DMD
3	DPD
4	GND

### USB ダウンストリームコネクタ

- 1 アップストリーム-後方
- 1 4ダウンストリーム-後方に2つ、左側面に2つ

**注意:** USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。

**注意:** モニターのUSBインターフェイスは、モニターの電源がオンになっている場合(あるいは電源セーブモードで)のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェイス後、通常機能に回復させます。

---

## プラグアンドプレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニタの据付は自動です。必要な場合は、違う設定を選択できます。モニタ設定の変更の詳細については、[「モニタの操作」](#)を参照して

---

## フラットパネル仕様

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
画面寸法	20インチ (20インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	
水平	433.44 mm (17.06 インチ)
垂直	270.90 mm (10.67 インチ)
ピクセル・ピッチ	0.258 mm
表示角度	160°(垂直) タイプ、170°(水平) タイプ
ルミネンス出力	300 CD/m <sup>2</sup> (タイプ)
コントラスト比	1000 ~ 1 (タイプ)
ダイナミックコントラスト	2000 ~ 1 (タイプ)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (4) エッジライト・システム
応答時間	5ms一般
色域(標準)	102%*

\* 2009W色域(標準)はCIE1976 (102%)およびCIE1931 (92%)テスト基準に基づいています。



[目次ページに戻る](#)

## 付録

### Dell™ 2009W フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [安全指示](#)
- [米国連邦通信委員会\(FCC\)通告\(米国内のみ\)およびその他規制に関する情報](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)



### 警告: 安全指示



**警告:** このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。

安全に関する注意事項については、[製品情報ガイド](#)を参照してください。

## 米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ [http://www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

---

## Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。



**注:** インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. [support.dell.com](http://support.dell.com) にアクセスします。
2. ページ下部の Choose A Country/Region [**国/地域の選択**]ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の Contact Us [**連絡先**]をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

---

[目次ページに戻る](#)

## モニタの操作

### Dell™ 2009W フラットパネルモニタユーザーズガイド


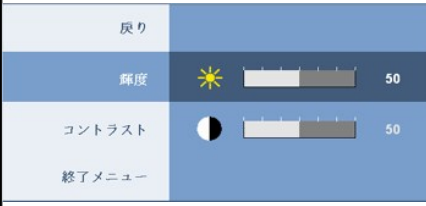




- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)の使用](#)
- [最適解像度を設定する](#)
- [Dellサウンドバー\(オプション\)を使う](#)
- [傾き、旋回および垂直拡張を使う](#)
- [モニタの回転](#)
- [オペレーティングシステムの回転設定の調整](#)

### 前面パネルコントロールの使用

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。



前面パネルボタン	説明
<p>A</p>  <p>入カソースの選択</p>	<p>入力選択ボタンを使って、モニターに接続する2つの異なるビデオ信号の間のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1: VGA 入力</li> <li>1: DVI-D 入力</li> </ul> <p>VGAと DVI ケーブル両方をPC1台に接続する場合、ビデオ信号が VGA または DVI 出力のどちらかにある限り、このモニターに、自動的に画像が表示されたディスプレイ上で、両方のスクリーンセーバーに同じ時間を設定します。マウスをはじめに動かしてビデオ入力すると、ディスプレイが作動し、入力を順次行なうと、次のメッセージが表示され、現在選択している入力ソースが表示されます。画像が表示されるまで、1~2秒かかることがあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1: 自動検出 (アナログ入力) </p> <p>2: アナログ入力 </p> </div> <p>または</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1: 自動検出 (デジタル入力) </p> <p>3: デジタル入力 </p> </div> </div> <p>VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1: 自動検出 (アナログ入力 ) VGAケーブルなし</p> <p>2: アナログ入力  VGAケーブルなし</p> </div> <p>または</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>1: 自動検出 (デジタル入力 ) DVI-Dケーブルなし</p> <p>3: デジタル入力  DVI-Dケーブルなし</p> </div> </div>
<p>B</p>  <p>OSDメニュー/選択</p>	<p>MENU(メニュー)ボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。「<a href="#">メニューシステムにアクセスする</a>」を参照し</p>

C	 <p>明るさ/コントラストホットキー</p>	<p>「明るさ」および「コントラスト」コントロールメニューに直接アクセスするには、このボタンを使用します。</p> 
C および D	 <p>ダウン (-) およびアップ (+)</p>	<p>これらのボタンを使用してナビゲートし、OSDでスライダバー(範囲の縮小/増加)コントロールを調整します。</p>
D	 <p>自動調整</p>	<p>このボタンを使って、自動設定を有効にしメニューを調整します。モニターが電流入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが</p>  <p>自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル・クロック(粗い)、フェーズ(微)を使って、モニターをさらに調整できます。</p> <p><b>注:</b> 自動調整は、有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合には、発生しません。</p>
E	 <p>電源ボタン (電源ライトインジケータ付き)</p>	<p>電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。</p> <p>緑のLEDは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。黄色のLEDは、DPMS電源セーブ・モードを表します。</p>

## オンスクリーンディスプレイ(OSD)の使用

### メニューシステムへのアクセス

**注:** 設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

1. メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

### アナログ(VGA)入力用メインメニュー




または


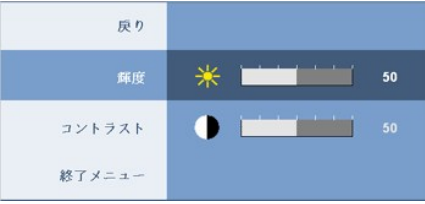




















### 非アナログ(非VGA)入力用メインメニュー



**注:** 自動調整は、アナログ(VGA)コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。

2. **○** および **⊕** ボタンを押して、設定オプションを移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。
3. メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。
4. **○** および **⊕** ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。
5. **⊖** を押して、スライダーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、**○** および **⊕** ボタンを使って、変更します。
6. 「戻る」オプションを選択してメインメニューに戻るか、「終了」を選択してOSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを選択して、終了します。

	<b>明るさ&amp;コントラスト</b>	<p>このメニューを使って、明るさ/コントラスト調整を有効にします。</p>  <p><b>戻る</b>   を使ってメインメニューに戻ります。</p> <p><b>明るさ</b>  明るさで、バックライトのルミネンスを調整します。</p> <p><b>コントラスト</b>   ボタンを押して明るさを上げるか、 ボタンを押して明るさを下げます(最小0~最大100)。  最初に明るさを調整し、さらに調整が必要な場合のみ、次にコントラストを調整します。</p> <p><b>メニューの終了</b>   ボタンを押してコントラストを上げるか、 ボタンを押してコントラストを下げます(最小0~最大100)。  「コントラスト」機能で、モニタ画面の暗さと明るさの程度を調整します。   を押してOSDメインメニューを終了します。</p>
	<b>自動調整</b>	<p>コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。</p>  <p><b>注:</b> ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。  <b>注:</b> AUTO ADJUST (自動調整) オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。</p>
	<b>入力ソース</b>	<p>INPUT SOURCE(入力ソース)メニューを使って、異なるビデオ信号の間でモニタに接続するものを選択します。</p>  <p><b>戻る</b>   を使ってメインメニューに戻ります。</p> <p><b>VGA</b>   アナログ(VGA)コネクタを使用しているとき、VGA入力を選択します。 を押して、VGA入力ソースを選択します。</p> <p><b>DVI-D</b>   デジタル(DVI)コネクタを使っているときは、DVI-D入力を選択します。 を押して、DVI入力ソースを選択します。</p> <p><b>ソースのスキャン</b>   を押して、使用可能な入力信号をスキャンします。</p> <p><b>メニューの終了</b>   を押してOSDメインメニューを終了します。</p>
	<b>プリセット設定</b>  <b>プリセット設定サブメニュー</b>	<p>Preset Mode(プリセットモード)を使って、色設定モードと色温度を調整します。</p>  <p><b>戻る</b>   を使ってメインメニューに戻ります。</p>

	<b>入力色形式</b>	PC RGBおよびHD YpbPrIに対して、異なる色ドメインを有効にします(HD YpbPrIはDVIでビデオを再生するのに適しています。PC RGBはDVIで通常のPCグラフィックに適しています)。
	Gamma	PCおよびMacに対して異なる色モードを有効にします。
	<b>色設定モード</b>	グラフィックスモードとビデオモードを切り換えることができます。コンピュータがモニタに接続されている場合、グラフィックスを選択してください。DVD、STB、または接続されている場合、ビデオを選択します。
	<b>色プリセット (VGA/DVI-D入力)</b>	PC RGBおよびHD YpbPrIに対して、異なる色ドメインを有効にします(HD YpbPrIはDVIでビデオを再生するのに適しています。PC RGBはDVIで通常のPCグラフィックに適しています)。
	<b>デスクトップモード</b>	デスクトップアプリケーションに適したモード。
	<b>マルチメディアモード</b>	マルチメディアアプリケーション用のモード(たとえば、ビデオ再生)。
	<b>ゲームモード</b>	ゲームアプリケーションに適したモード。
	<b>sRGBモード</b>	72% NTSC色をエミュレートするためのモード。
	<b>ウォームモード</b>	ウォームモードは、赤褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつう色集中アプリケーション(写真画像編集、マルチメディア、ムービーなど)に使用します。
	<b>Cool MOde</b>	クールモードは、青褐色を取得するのに選択します。この色設定は、ふつうテキストベースのアプリケーション(スプレッドシート、プログラミング、テキストエディタなど)に使用します。
	<b>カスタム(R、G、B)モード</b>	⊖または⊕ ボタンを使用して、3色(R、G、B)のそれぞれを独立して0~100まで1桁ずつ増加または減少します。
	<b>プリセットモード(ビデオ入力)</b>	
	<b>ムービーモード</b>	ムービー再生に適したモード。
	<b>ゲームモード</b>	ゲームアプリケーションに適したモード。
	<b>スポーツモード</b>	スポーツシーンに適したモード
	<b>ネイチャーモード</b>	ネイチャーシーンに適したモード。
	<b>色合い</b>	プラスおよびマイナスボタンを使って、0~100まで1桁ずつ、3色それぞれ(R、G、B)を増減します。 ⊖ 画像の色を緑に変更します。 ⊕ 画像の色を紫に変更します。 注：色合いは、ビデオ入力の場合のみ使用できます。
	<b>彩度</b>	この機能は、ビデオ画像の色を緑から紫にシフトします。これは、目的のフレッシュな色調に調整するために使用されます。- または + を使って、「0」から「100」まで調整します。 ⊖ ビデオイメージのモノクロを強くします。 ⊕ ビデオイメージをよりカラフルにします。 注：彩度は、ビデオ入力の場合のみ使用できます。
	<b>メニューの終了</b>	⊞ を押してOSDメインメニューを終了します。


	<b>画像設定</b>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="224 1257 277 1293"></td> <td data-bbox="293 1257 423 1293"><b>画像設定サブメニュー</b></td> <td data-bbox="440 1257 1443 1877"> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="440 1264 857 1287"><b>VGA入力の場合の画像設定サブメニュー</b></td><td colspan="2" data-bbox="873 1264 1274 1287"><b>DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー</b></td></tr> <tr> <td data-bbox="440 1293 857 1724"> <table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>水平位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>垂直位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>50</td></tr> <tr><td>フェーズ</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table> </td><td data-bbox="873 1293 1274 1724"> <table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table> </td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="224 1736 277 1772"></td> <td data-bbox="293 1736 423 1772"><b>戻る</b></td> <td data-bbox="440 1736 1443 1772">⊞ を使ってメインメニューに戻ります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="224 1776 277 1812"></td> <td data-bbox="293 1776 423 1812"><b>水平位置</b></td> <td data-bbox="440 1776 1443 1812">⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。 注：DVIソースを使用しているとき、水平設定は使用できません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="224 1816 277 1852"></td> <td data-bbox="293 1816 423 1852"><b>垂直位置</b></td> <td data-bbox="440 1816 1443 1852">⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。 注：DVIソースを使用しているとき、垂直設定は使用できません。</td> </tr> </table>		<b>画像設定サブメニュー</b>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="440 1264 857 1287"><b>VGA入力の場合の画像設定サブメニュー</b></td><td colspan="2" data-bbox="873 1264 1274 1287"><b>DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー</b></td></tr> <tr> <td data-bbox="440 1293 857 1724"> <table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>水平位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>垂直位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>50</td></tr> <tr><td>フェーズ</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table> </td><td data-bbox="873 1293 1274 1724"> <table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table> </td></tr> </table>	<b>VGA入力の場合の画像設定サブメニュー</b>		<b>DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー</b>		<table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>水平位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>垂直位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>50</td></tr> <tr><td>フェーズ</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table>	戻る		水平位置	50	垂直位置	50	シャープネス	50	周波数	50	フェーズ	50	動的コントラスト	オン オフ	ディスプレイ情報	モニタ情報	ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット	終了メニュー		<table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table>	戻る		シャープネス	50	動的コントラスト	オン オフ	ディスプレイ情報	モニタ情報	ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット	終了メニュー			<b>戻る</b>	⊞ を使ってメインメニューに戻ります。		<b>水平位置</b>	⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。 注：DVIソースを使用しているとき、水平設定は使用できません。		<b>垂直位置</b>	⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。 注：DVIソースを使用しているとき、垂直設定は使用できません。
	<b>画像設定サブメニュー</b>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="440 1264 857 1287"><b>VGA入力の場合の画像設定サブメニュー</b></td><td colspan="2" data-bbox="873 1264 1274 1287"><b>DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー</b></td></tr> <tr> <td data-bbox="440 1293 857 1724"> <table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>水平位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>垂直位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>50</td></tr> <tr><td>フェーズ</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table> </td><td data-bbox="873 1293 1274 1724"> <table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table> </td></tr> </table>	<b>VGA入力の場合の画像設定サブメニュー</b>		<b>DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー</b>		<table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>水平位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>垂直位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>50</td></tr> <tr><td>フェーズ</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table>	戻る		水平位置	50	垂直位置	50	シャープネス	50	周波数	50	フェーズ	50	動的コントラスト	オン オフ	ディスプレイ情報	モニタ情報	ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット	終了メニュー		<table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table>	戻る		シャープネス	50	動的コントラスト	オン オフ	ディスプレイ情報	モニタ情報	ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット	終了メニュー													
<b>VGA入力の場合の画像設定サブメニュー</b>		<b>DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー</b>																																																		
<table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>水平位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>垂直位置</td><td>50</td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>周波数</td><td>50</td></tr> <tr><td>フェーズ</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table>	戻る		水平位置	50	垂直位置	50	シャープネス	50	周波数	50	フェーズ	50	動的コントラスト	オン オフ	ディスプレイ情報	モニタ情報	ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット	終了メニュー		<table border="1"> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> <tr><td>シャープネス</td><td>50</td></tr> <tr><td>動的コントラスト</td><td>オン オフ</td></tr> <tr><td>ディスプレイ情報</td><td>モニタ情報</td></tr> <tr><td>ディスプレイのリセット</td><td>既定の表示設定にリセット</td></tr> <tr><td>終了メニュー</td><td></td></tr> </table>	戻る		シャープネス	50	動的コントラスト	オン オフ	ディスプレイ情報	モニタ情報	ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット	終了メニュー																				
戻る																																																				
水平位置	50																																																			
垂直位置	50																																																			
シャープネス	50																																																			
周波数	50																																																			
フェーズ	50																																																			
動的コントラスト	オン オフ																																																			
ディスプレイ情報	モニタ情報																																																			
ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット																																																			
終了メニュー																																																				
戻る																																																				
シャープネス	50																																																			
動的コントラスト	オン オフ																																																			
ディスプレイ情報	モニタ情報																																																			
ディスプレイのリセット	既定の表示設定にリセット																																																			
終了メニュー																																																				
	<b>戻る</b>	⊞ を使ってメインメニューに戻ります。																																																		
	<b>水平位置</b>	⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。 注：DVIソースを使用しているとき、水平設定は使用できません。																																																		
	<b>垂直位置</b>	⊖ または ⊕ ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+ )です。 注：DVIソースを使用しているとき、垂直設定は使用できません。																																																		

	<b>シャープネス</b>	この機能により、画像はシャープにまたはソフトに表示されます。 ⊖ または ⊕ を使って、「0」から「100」までシャープネスを調整します。
	<b>ピクセルクロック</b>	ピクセルクロックおよびフェーズ調整で、モニターをお好みにあわせ調整することができます。これらの設定は、「画像設定」を選択することで、メインOSDメニューから ⊖ または ⊕ ボタンを使って、最高の画像品質になるように調整します。
	<b>フェーズ</b>	フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセルクロック(粗い)を使い、次にフェーズ(細かい)をもう一度使います。 <b>注:</b> ピクセルクロックとフェーズ調整は、「VGA」入力の場合のみ使用できます。
	<b>ダイナミックコントラスト</b>	ダイナミックコントラスト調整によって、ユーザーは、ゲームプリセット、ムービープリセット、スポーツプリセットおよび自然プリセットを選択する場合に、高コントラスト ことができます。(ダイナミックコントラストモードに入っている間明るさコントロールは無効になっており、淡色表示されます)。 ⊖ ボタンを使って、ダイナミックコントラスト調整を有効にします。 ⊕ ボタンを使って、ダイナミックコントラスト調整を無効にします。
	<b>画像情報</b>	All the settings related to this monitor.
	<b>画像プリセット</b>	Reset the image to the original factory setting.
	<b>メニューの終了</b>	Push  to exit the OSD main menu.

	<b>その他の設定</b>	
	<b>その他の設定サブメニュー</b>	
	<b>戻る</b>	⊖ を使ってメインメニューに戻ります。
	<b>言語</b>	言語は5ヶ国語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、日本語)のうち1つで表示を行うようにOSDディスプレイを設定できます。
	<b>メニューの透明性</b>	この機能は、OSD 背景を不透明から透明に変更するのに使います。
	<b>メニュータイマ</b>	OSDホールド時間時間の長さを設定すると、OSDはボタンを最後に押した後に有効になります。 ⊖ または ⊕ ボタンを使って、1~60秒までで、5秒ずつスライダを調整します。
	<b>メニューロック</b>	調整に対するユーザアクセスを管理します。[ロック]  を選択した場合、ユーザ調整はできません。⊖ ボタン以外、ボタンはすべてロックされます。 <b>注:</b> OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。[いいえ]  を選択して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。
	<b>メニューの回転</b>	OSDを反時計方向に90度回転します。「 <a href="#">ディスプレイ回転</a> 」に従って、メニューを調整できます。
	<b>オーディオ (オプション)</b>	モニターが電源セーブ・モードの場合、オーディオをオンまたはオフにすることができます。 デフォルトは、[有効]です。[無効]を選択して、この機能を無効にすることができます。 <b>はい</b> - コンピュータが省電力モードでもオーディオをオンにします。 <b>いいえ</b> - コンピュータが省電力モードのときオーディオのオンを無効にします。
	<b>DDC/CI</b>	DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ (明るさ、配色等)を調整できます。 モニタのユーザー体験を最高にし最適のパフォーマンスを達成するために、この機能は常に有効にしておいてください。
	<b>LCD条件設定</b>	 モニタで画像が固まった場合、LCD条件設定を選択し、残留画像を削除します。LCD条件設定機能の使用には、数時間が必要な場合があります。残留画像の程 ひどいものは焼付けとして知られ、LCD条件設定機能では、この焼付けを削除することができません。

この機能はまれに生じる残像を削減するのに役立ちます。  
残像の度合いによりプログラムを実行するまで時間がかかることがあります。  
続行しますか？ **いいえ** はい +

**オーディオ  
メニューの終了**

**注:** ユーザーが[無効]を選択する場合、下記のような警告メッセージボックスが表示されます。[はい]を選択すると、OSDメニューオプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。  
を押してOSDメインメニューを終了します。

Vertical line 1

Vertical line 2

Vertical line 3



Vertical line 1

Vertical line 2

Vertical line 3

Vertical line 1

Vertical line 2

Vertical line 3


[目次ページに戻る](#)

## モニタのセットアップ

Dell™ 2009W フラットパネルモニタユーザーズガイド

- [スタンドを取り付ける](#)
- [モニタの接続](#)
- [ケーブルの整理](#)
- [サウンドバーの取り付け\(オプション\)](#)
- [スタンドを取り外す](#)

### スタンドを取り付ける


 **注意:** 出荷時、スタンドはモニタに装着されていません。



平らな面にスタンドを置き、以下のステップに従ってモニタスタンドを取り付けてください。

1. モニタ背面の溝をスタンド上部の2つのタブに合わせます。
2. モニタの取り付け領域がバチッと留まるか、スタンドにロックされるまで、モニタを下げます。

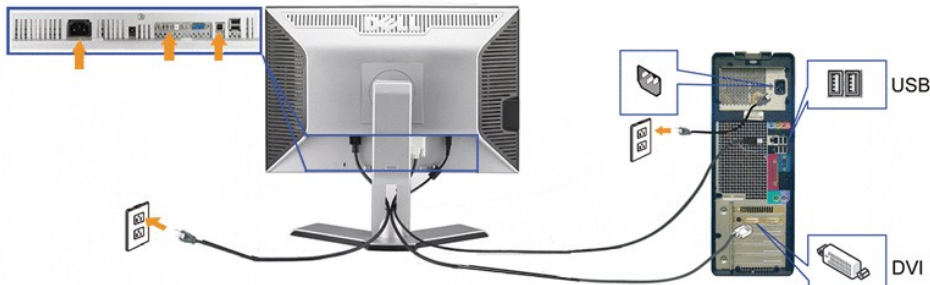
### モニタの接続

 **警告:** このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。

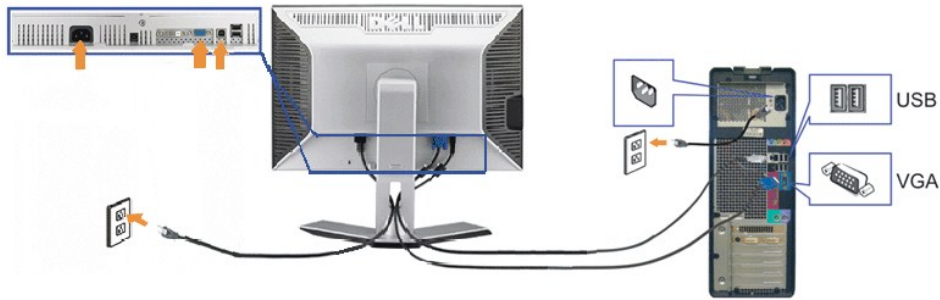
モニタをコンピュータに接続するには、次のステップ/指示を実行してください。

1. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
1. 白い(デジタルDVI-D)または青い(アナログVGA)ディスプレイコネクタケーブルのどちらかをコンピュータ背面の対応するビデオポートに接続します。両方のケーブルを同じコンピュータで使用しないでください。2台の異なるコンピュータが適切なビデオシステムに接続されているときのみ、両方のケーブルを使用します。

#### 白い DVI ケーブルの接続



#### 青い VGA ケーブルの接続



**注意:** 画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピュータの外観は異なることがあります。

DVI/VGAケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。DVI/VGAケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。:

- 1 DVI/VGAケーブルの接続が完了したら、以下の手順に従ってUSBケーブルをコンピュータに接続し、モニタのセットアップを完了します。
- 1 USB周辺機器をモニタのダウストリームUSBポート(背面または側面)に接続します。(鍾愛は、[背面図](#)または [底面図](#)を参照してください)。
- 1 コンピュータとモニタの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。
- 1 モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。  
画像が見えない場合は、入力選択ボタンを押し、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。それでも画像が映らない場合は、[問題を解決する](#)を参照してください。
- 1 モニタスタンドのケーブルホルダを使用してケーブルを整理します。

## ケーブルの整理



モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホルダを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

## サウンドバーの取り付け(オプション)



**注記:** Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

**注意:** サウンドバーパワーコネクタ +12V DC 出力は、オプションのサウンドバー専用です。

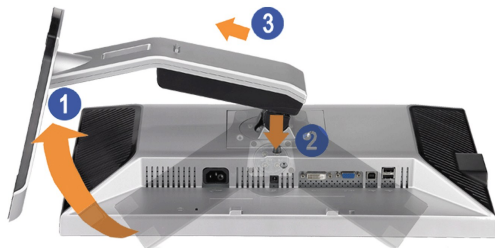
1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します。

---

## スタンドを取り外す

**注意:** スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニタがきれいな表面に配置されていることを確認してください。

次のステップに従ってスタンドを取り外してください:



1. スタンドのリリースボタンに手が届くようにスタンドを回転します。
2. スタンドリリースボタンを押し下げます。
3. スタンドを持ち上げ、モニタから離します。

---

[目次ページに戻る](#)

## 問題を解決する

### Dell™ 2009W フラットパネルモニターユーザーズガイド

- [モニターのトラブルシューティング](#)
- [一般的な問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
- [Dell™ サウンドバーのトラブルシューティング](#)

**警告:** このセクションで手続きをはじめめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。

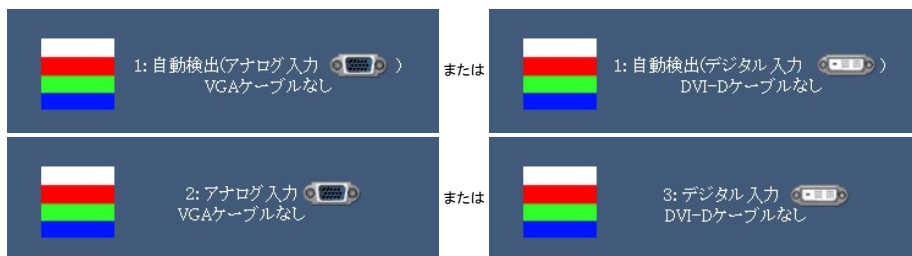
## モニターのトラブルシューティング

### 自己テスト機能チェック(SIFC)

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください。

1. コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピュータの後ろかビデオケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル(白コネクタ)とアナログ(黒コネクタ)ケーブル両方を外します。
3. モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが(黒い背景に)表示されます。自己テストモードに入っている間、電源 LED は青く表示されています。また、選択した入力によっては、以下に示したダイアログボックスの 1 つが画面を連続してスクロールします。



4. ビデオケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにして、ビデオケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、ビデオ・コントローラおよびコンピュータ・システム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。

## 一般的な問題

次の表には、発生する可能性のあるモニターのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/ 電源 LED オフ	画像なし、モニターが無効	<ul style="list-style-type: none"><li>1 コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します</li><li>1 電気装置を適切に使って、電源差込口が機能していることを確認します。</li><li>1 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。</li></ul>
ビデオなし/ 電源 LED オフ	画像なし、または明るさがない	<ul style="list-style-type: none"><li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li><li>1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。</li><li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li></ul>
ビデオが 弱く 薄く	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none"><li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li><li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li><li>1 ビデオ拡張ケーブルを外します。</li><li>1 モニターを工場出荷時設定にリセットします。</li><li>1 ビデオ解像度を正しいアスペクト比(16:10)に変更します</li></ul>
ビデオ	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"><li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li></ul>

オが揺れたり/ずれたりする		<ul style="list-style-type: none"> <li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 環境係数をチェックします。</li> <li>1 モニタの場所を変えて、他の部屋でテストします。</li> </ul>
ピクセルが抜けている	液晶画面に黒い点が見つかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 サイクル電源オン-オフ</li> <li>1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。</li> </ul>
常時点灯する画素	液晶画面に光る点がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 サイクル電源オン-オフ</li> <li>1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。</li> </ul>
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul>
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「2: DVI-D」を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。</p>
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li> <li>1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「2: DVI-D」を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません。</p>
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li> <li>1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> <li>1 セーフモードでコンピュータを再起動します。</li> </ul>
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 トラブルシューティング手順を実行しないでください。</li> <li>1 直ちにDellにご連絡ください。</li> </ul>
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。</li> </ul>
スタックオンピクセル	画像の色が欠けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタの自己テスト機能チェックを実行します。</li> <li>1 コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> </ul>
色違い	画像の色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 色設定OSDで、アプリケーションに応じて、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。</li> <li>1 色設定OSDで異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、色設定OSDでR/G/B値を調整します。</li> <li>1 アドバンス設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。</li> </ul>
長時間モニタに静止画像を表示したため起こる画像の焼き付き	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニタの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します。長期間モニタに残ります。(詳細については、<a href="#">電源管理モード</a>参照してください)。</li> <li>1 または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。</li> </ul>

||

|

|